

りょう なかつか亮



住民の「困った」を区政に届けます



低い日本の
補聴器所有率

イギリス 47.6%

フランス 41%

日本 14.4%

高齢者の「聞こえづらさ」に

補聴器購入費補助を第2回定例会で提案します

公的支援を

本会議で提案

6月27日より開会
する品川区議会第2回
定例会にて、共産党は
補聴器購入費補助など
加齢性難聴への公的支
援の実施を品川区に提
案をします。

聞こえづらさによる 深刻なリスク

耳の「聞こえづらさ」
に悩まされている方
は大勢いらっしゃるま
す。統計では70歳以
上の約半数が加齢性難
聴と推定され品川区内
では約2万人と、多く
の方の深刻な悩みです。
加齢性難聴は高音か

ら聞こえにくくなり、
日常会話が聞こえづら
くなると、友達や近所
の方との会話が聞き取
れず、外出をためらう
との話も良く聞き、コ
ミュニケーションに支
障が生まれ社会的孤立
がおきる事もあります。
また脳は聞いた言葉
から「うれしい」「悲
しい」との感情を抱い
たり、言葉を聞き考え、
返事をするなどの刺激
が減ると、認知症や鬱
のリスクを高めると言
われるなど難聴は生活
を送る上で、深刻な問
題です。

23区で8区が購入費補助

品川でも実施を

早めの補聴器が

効果的

補聴器を利用するのは早めにした方が慣れるのが早く、言葉の聞き取りや理解にも効果的と言われています。

しかし補聴器は片耳で4万円から30万円、さらに高額なものもあります。両耳に付けた方が音が立体的に聞こえやすくなりますが、購入費は2倍になるため、とても手が届かない実態があります。

また、高額な補聴器を購入しても、使っていない方もいます。

補聴器に慣れるには約3ヶ月ほど調整がかかると言われ、根気強

いトレーニングも必要で、電池交換や認定補聴器技能者に調整をお願いするなど、こうした事が徹底されずに購入したものの使っていない方もいます。

区議会で提案

日本では補聴器への支援が乏しく、イギリスやフランスでは所有率が4割を超えていますが日本では14%と、とても遅れています。

こうした中、23区で8区で補聴器購入費への補助や相談体制などを整え、公的支援が始まっています。

品川区でも早く実施できるように区議会で提案していきます。

品川区議会 本会議の傍聴案内

ぜひ議会の様子をご覧ください

品川区議会本会議にて日本共産党が質問します

6月27日(木) 午後2:50集合 共産党鈴木ひろ子区議

質問テーマ「羽田新ルート撤回」「重度障害者への日常生活支援」「補聴器購入費補助」「消費税10%中止を」——インターネット生中継もあります——

品川区議選後、最初の本会議質問となります。区役所隣の議会棟4階の区議会事務局にて傍聴券を受け取り、本会議場の傍聴席にお進みください。6階の共産党区議控室にも、お立ち寄りください。



次回の「気軽な町の無料法律相談会」のお知らせ

7月26日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください。

連絡先 昼：区議控室**5742-6818** 夜：事務所**3773-3231**

なかつか亮の駅前宣伝 火曜日朝7時半～大井町駅、金曜日朝7時半～西大井駅、土曜日夕方4時～大井町駅
スタッフ募集：区政報告を駅前宣伝で配付して頂ける方を探しています。少しの時間だけでも助かります。